

水稻直播栽培特報(第2号) ~ カルパー&鉄コーティング ~

~ 「H30JAなのはな米品質向上運動」実施中~

産地として選ばれる“なのはな米”1等比率95%以上を達成しよう!!

平成30年5月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

- 播種方法に応じた的確な水管理で、初期生育を確保しましょう。
- 早めの溝掘り、適期の中干しで稲体健全化に努めましょう。

1 出芽期以降の水管理

- カルパーコーティング …… 出芽期以降は水深3cm程度の「浅水管理」
- 鉄コーティング …… 出芽期はヒタヒタ水状態の「飽水管理」、1葉期以降は水深3cm程度の「浅水管理」

(注:鉄コーティングは、カルパーに比べ出芽までに日数がかかります。)

- ・浅水管理時の入水は、朝または夕方に短時間で行い、日中は止水としましょう。
- ・湛水状態で散布する除草剤を使用する場合、散布後5日間は水深5cm以上を保ち、その後は浅水管理としてください。
- ・藻や表層はく離が発生した場合は、水の入れ替えを行いましょ。

2 溝掘り・中干し

(1) 溝掘り

- ・溝掘りは6月上旬までに必ず実施しましょう。
- ・10~15条に1本の割合で溝を掘り、水尻としっかり連結しましょう。

(2) 中干し【開始時期:6月上~中旬】

- ・1m間の茎数が100本程度になったら、遅れずに中干しを開始しましょう。
- ・土の表面に小さな亀裂が入り、田面が硬くなるまで田を干し、出穂後20日間の湛水管理に備えましょう。

適期の溝掘り実施で、
中干し効果が高まり、
根っこいきいき!



3 雑草防除

- ・稲の生育とノビエ等雑草の発生状況を確認し、適期に散布しましょう。
- ・除草剤の散布時は、湛水状態(水深5cm程度)とし、散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにしましょう。

<体系是正剤(一発処理剤)>

使用除草剤	使用量(10a当たり)	使用時期	使用上の注意
バッチリ1キロ粒剤	1kg	○カルパー:イネ出芽期以降、 ○鉄コーティング:イネ1.5葉期以降、	湛水状態で散布し、 散布後5日間は湛水状態を保つ。
キクンジャーZ1キロ粒剤	1kg		
ゴエモン1キロ粒剤	1kg	イネ1.5葉期以降、ノビエ2.5葉期まで	
コメット1キロ粒剤			
ボランディアジャンボ	400g	イネ1.5葉期以降、ノビエ2.0葉期まで	

◎残草がある場合は、下表を参考に、草種に応じた除草剤を散布しましょう。

雑草種類	使用除草剤	使用量(10a当たり)	使用時期	使用上の注意
ノビエ	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	播種後10日以降 ノビエ3葉期まで	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 【※ 使用は収穫30日前まで】
		1.5kg	播種後25日以降 ノビエ4葉期まで	
ノビエ広葉雑草	クリンチャーバスME液剤	薬量:1,000ml 希釈水量:70~100l	播種後10日以降 ノビエ5葉期まで	落水状態で雑草茎葉部に薬剤が付着するように散布する。また、3~4日間は入水、落水しない。 【※ 使用は収穫50日前まで】

4 葉いもち防除

◎葉いもちの発生を防止するため、オリゼメート1キロ粒剤を散布しましょう。

散布時期	薬剤名	使用量(10a当たり)	備考
6月中旬	オリゼメート1キロ粒剤	1kg	散布後4~5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水やかけ流しをしない

~ 生産履歴の記帳と適正農業管理(GAP)に取り組み、「安全・安心」な米づくりを進めましょう ~